

# いわ桜小

学校だより 地域版

2019年4月

学校の教育目標 自分で考え 行動する子

## 笑顔があふれ、一人一人が輝く学校

校長 諸橋 幸彦

5名の新1年生を迎え、全校児童29名で新年度が始まりました。今年度は、1年生5名、2年生4名、3年生5名、4年生3名、5年生12名となります。新年度が始まり2週間、1年生も少しずつ学校に慣れてきました。バス通学では、上級生にバスの乗り方や車内での過ごし方について教えてもらい、楽しく登校しています。徒歩通学では、安全に気をつけてまとまって登校しています。特に挨拶の姿が素晴らしく、大きな声ではっきりと「おはようございます」「さようなら」と言うことができます。ご家庭や地域でも同じようにできていることだと思います。



2年生以上の子供たちは、学年が一つ上がりました。4年生と5年生は、6年生がいないため、学校を引っ張っていくリーダーとなります。児童会の委員長が決まり、委員会活動が始まりました。委員会活動は、通常は、5年生と6年生が行いますが、4年生から始まります。5年生と協力して、学校全体のことを考え、工夫した活動をすることを期待しています。5年生は最高学年です。卒業した先輩の姿をお手本に、12名の仲間と心と力を合わせて活躍することを願っています。まずは5月25日（土）にある運動会へ向けて、4月から準備を始めていきます。運動会へ是非お越しください。

## ふるさとに誇りをもち、美山が大好きないわ桜っ子

入学式で5年生児童代表が、学校の楽しい活動として「イワザクラ」や「アマゴ」を育てていることを紹介していました。いわ桜小で毎年行っている「ふるさと学習」が、子供たちの心に残っているのだと感じました。舟伏山に自生するイワザクラ、清流にすむアマゴ、葛原太鼓など、ふるさと学習は単なる体験ではなく、地域の人とつながることを通して、ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思う気持ちを育てます。地域で生まれた育った人、地域を守る人、地域へ移り住んできた人など、様々な人と関わることで学びが深まり心が育ちます。

いわ桜小学校は来年で開校20周年です。今後も、地域の皆様のお力添えをいただきながら、学校の教育活動を進めてまいります。笑顔があふれ、一人一人が輝く学校、そして、すべての子供が明日も来たいと思える学校となるように、教職員一同全力で取り組みます。どうぞよろしくお願ひします。